

ハーモニー

Harmony

第56号 2011年9月8日発行
日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座
後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

目次

第19回学術集会へのお誘い	1	私の県の「ここが特色」⑬	6
第19回学術集会プログラム	2	「私の実践と研究」リレー・レポート⑩	7
第19回学術集会プレコンgressのご案内	5	「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」 改訂作業の進捗状況について	7
文部科学省の「教職生活の全体を通じた教員の資 質能力の総合的な向上方策について（審議経過報 告）」に対する意見の提出について【報告】	5	2011年度総会告示	8
		事務局より・編集後記	8

第19回学術集会へのお誘い

学会長 三木とみ子（女子栄養大学）

いよいよあと1ヶ月余となりました。第19回学術集
会は、前回のハーモニーでもご案内致しましたが今回
はその後の詳細についてお知らせ致します。

- プレコンgressでは、理事会主催で東日本大震災と
その被害を踏まえ「災害時に保健室、養護教諭はど
のような役割を果たせるか」を課題に意見交流します。
- 「リレーションポジウム」は、今までにない企画です。
第1部「学会長講演」、第2部「意見発表」、第3部
「ディスカッション」で流れます。第1部はテーマ
設定の趣旨及び最近の養護教諭を取り巻く動向、こ
れからの養護教諭の資質の担保のあり方、養成、採
用、現職研修のつなぎなどを中心に述べます。第2
部は学校現場の養護教諭並びに現職研修にかかわる
教育行政担当者、管理職等から「養護教諭養成機関
卒業、採用時にこれだけは身につけておくべき資質
や能力」について「私はこう考える」をそれぞれの
立場から提起していただきます。第3部は1部及び
2部を受け、養護教諭が現場に勤務する際、最小限
必要な資質をどのように担保すべきかをそれぞれの
立場から以下の視点を①「養成機関」「採用時」「現
職研修」でどのように担保するか、②それらをどの
ように接続するか、③本学会に何が期待するか等を
踏まえ討議したいと思います。
- 特別講演は、テレビなどでおなじみの大澤孝征弁護
士に「青少年の犯罪と学校教育」のテーマでご講演

をいただきます。ここは、一般公開となっています。

- 懇親会は多くの参加者をお迎えして本学自慢の松柏
軒のお料理を食しながら全国の方々と交流を深めて
いただきたいと思います。
 - 一般口演、ポスター発表等是由多の方からエント
リーしていただき相互に学びあえるものと思います。
ランチョンセミナー、全国の学生交流と学生ランチョ
ンセミナーは本学の松柏軒の美味しいお弁当をいた
だきながら子宮頸がん予防について学びができます。
 - ワークショップは「今日の課題に向かい合い実践を
振り返り明日に活かす」の目的のもと、参加者の選
択の幅を多くできるように次のような7つの課題を
設定いたしました。
 - ①「学校環境衛生、感染症の危機管理にどう対応するか」
 - ②「口腔写真撮影技術を身につけ指導に活かす」
 - ③「養護教諭のヒヤリ・ハット体験を書いて分析して
明日の実践に活かす」
 - ④「ライセンス保持者による新たな子どもの発育計測法」
 - ⑤養護診断開発「対応の根拠を明確にして養護実践に
誇りと喜びを」
 - ⑥「子どもが見える」、「養護教諭の実践がわかる記録
の書き方」
 - ⑦基礎統計「実態調査を提案に活かす知恵」
- ワークショップについては「いずれも自分自身の課
題でもあり、興味もあり、どれにも参加したい」と言
う声もあり大変有意義な企画だと思っています。
ここ、埼玉坂戸市若葉にお越し下さいませ。実行委
員一同心よりお待ちしております。

日本養護教諭教育学会 第19回学術集会プログラム

メインテーマ：今こそ『養護学』に立脚した養護教諭の職の発展を一実践を軸に養成カリキュラムを問う一

期 日：10月8日（土）10：30～10月9日（日）16：00

会 場：女子栄養大学 坂戸キャンパス 〒350-0288埼玉県坂戸市千代田3-9-21

10月8日（土） 10：00～受付

◇プレコングレス（10：30～11：40） B会場 …………… 学会活動委員会
「災害時に保健室、養護教諭はどのような役割を果たせるか」

◇リレーシンポジウム（12：30～16：25） A会場

第一部 学会長講演（12：30～13：10）…………… 座長 林典子（名古屋学芸大学）
「新たな時代に向けた養護教諭の資質能力の向上－養成カリキュラムを採用・研修へとつなぐ視点から－」

三木とみ子（女子栄養大学）

第二部 リレー意見発表（13：10～14：20）

「これからの養成カリキュラム－私はこう考える－」

安藤徹子（坂戸市立千代田小学校養護教諭） 平澤規子（足立区立第13中学校養護教諭）

竹内雅子（福井大学教育地域科学部附属中学校） 入駒一美（岩手県指導主事）

田村砂弥香（東京都指導主事） 西田倫子（美濃加茂市立古井小学校教頭）

第三部 協議ディスカッション（14：35～16：15）

「養護教諭の質をどう担保するか－「養成」「採用時」「現職研修」でどのように担保するか、学会への期待、
学会の果たす役割とは－」

後藤ひとみ（本学会理事長、愛知教育大学） 田嶋八千代（岡山大学大学院）

岡田加奈子（千葉大学） 堀田美枝子（全養連会長、埼玉県立浦和西高等学校）

総括（16：15～16：25）

◇特別講演（一般公開）（16：40～17：40）…………… 座長 遠藤伸子
「裁判恐るるに足らず」－知っておくべき法と実務の基本－ 大澤孝征（弁護士）

◇ウェルカムレセプション（17：30～18：00）

◇懇親会（18：00～）

10月9日（日） 8：30～受付

◇学会助成研究発表（9：20～10：00） B会場 …………… 座長 高橋香代（岡山大学）
「養護教諭が行う効果的な問診に関する研究－中学校における問診の現状と課題」 吉田あや子（西南女学院大学）他
「養護教諭の学校経営参画に関する研究－学校組織力の開発活動の実際－」 留目宏美（聖路加看護大学）

◇一般演題（10：00～11：15） B会場

（10：00～10：45）…………… 座長 鎌田尚子（桐生大学）

I－1 担任教諭の養護教諭に対する意識や期待する役割

○横山裕香（福井県立大学）他

I－2 養護教諭の職務の充実を促す複数配置移行について

○大野泰子（鈴鹿短期大学）他

I－3 養護教諭の専門性を支える学問の構造化試案（4）

－日本養護教諭教育学会の一般演題にみる研究方法の分析から－

○後藤ひとみ（愛知教育大学）

（10：45～11：15）…………… 座長 下村淳子（愛知学院大学）

I－4 学校保健安全法第8条「健康相談」の捉え方と定義付け試案

○徳山美智子（前大阪女子短期大学）

I－5 養護教諭の養成教育や職務に倫理綱領はどう活用されるか

○鎌田尚子（桐生大学）他

◇一般演題（10：00～10：30） C会場

（10：00～10：30）…………… 座長 山崎隆恵（神奈川県立綾瀬西高等学校）

II－1 学校救急処置におけるトリアージチェックリスト活用について

○松枝睦美（岡山大学大学院）他

Ⅱ-2 学校における救急設備品の史的考察

○竹下智美（一橋大学大学院）

◇一般演題（10：00～11：15） D会場

- (10：00～10：30)..... 座長 小林央美（弘前大学）
Ⅲ-1 女子大生の人間関係づくり ○山脇真弓（九州女子短期大学）他
Ⅲ-2 子ども学科における看護臨床実習の取組み ○矢野潔子（活水女子大学）
(10：30～11：15)..... 座長 三村由香里（岡山大学大学院）
Ⅲ-3 健康相談活動のための環境条件に対する中学校養護教諭の意識 ○河本肇（広島国際大学）
Ⅲ-4 専門学校における健康相談活動の実際
～被虐待学生への対応からみえてきたこと～ ○脇山美希（横浜高等教育専門学校）
Ⅲ-5 心的要因のある高校生への健康相談における支援の展開過程
～生徒の意志決定を促す養護教諭の支援内容～ ○久保田かおる（埼玉大学大学院）他

◇一般演題（10：00～11：15） E会場

- (10：00～10：30)..... 座長 竹鼻ゆかり（東京学芸大学）
Ⅳ-1 心の健康問題を抱える子どもへの支援～早期発見のためのスクリーニングテスト作成の試み
○佐見由紀子（東京学芸大学附属幼稚園）他
Ⅳ-2 発達障害を有する生徒の進路支援に果たした養護教諭の役割
～大学との連携事例の分析から～ ○山崎隆恵（神奈川県立綾瀬西高等学校）他
(10：30～11：00)..... 座長 松田芳子（熊本大学）
Ⅳ-3 QOL尺度（生活満足度）から見た中・高校生の生活習慣について ○宮崎久美子（徳島大学大学院）他
Ⅳ-4 中学生の携帯電話使用と生活習慣との関連について ○瀬口久美代（熊本市立長嶺中学校）他

◇一般演題（10：00～11：15） F会場

- (10：00～10：45)..... 座長 赤木光子（青森県立青森高等学校）
Ⅴ-1 養護教諭とスクールカウンセラーの連携の検討 ○園田淑子（玉川大学大学院）
Ⅴ-2 「性の健康教育」研修会における養護教諭の「自己受容」と「性教育への姿勢」に関する変化の検討
○鹿間久美子（群馬医療福祉大学）
Ⅴ-3 大学生における歯肉の観察を通じた健康づくりの有効性 ○柏谷麻佑子（所沢市立向陽中学校）他
(10：45～11：15)..... 座長 加藤景子（埼玉県教育委員会）
Ⅴ-4 医薬品教育への養護教諭の関わりについて
～養護教諭の専門性や保健室の機能を活かした授業実践～ ○香田由美（兵庫教育大学大学院）他
Ⅴ-5 ベトナムの中学1年生における喫煙に関する禁煙授業と意識調査
○三浦佐智子（町田市立南つくし野小学校）

◇一般演題（10：00～11：05） L会場 ポスター発表

- ポスター発表Ⅰ（10：00～10：26）..... 座長 瀬口久美代（熊本市立長嶺中学校）
P-1 中学生の自己肯定感と教師との関わりとの関連 ○藤林まど花（久留米大学大学院）他
P-2 子どもの自尊感情と生活習慣との関連に関する分析 ○佐藤倫子（札幌市立福住小学校）他
(10：26～10：52)..... 座長 斉藤ふくみ（茨城大学）
P-3 構成的グループエンカウンターによる中学生の対人恐怖心性の変化
○田代有紀（東海大学付属第二高等学校）他
P-4 大学生の生活行動と自尊感情の実態 ○築地優子（北海道札幌市立屯田南小学校）他
ポスター発表Ⅱ（10：00～10：26）..... 座長 石崎トモイ（新潟青陵大学）
P-5 養護教諭と栄養教諭等の連携による食育の実態と課題 ○大川尚子（関西福祉科学大学）他
P-6 看護系大学生の養護実習の救急処置における学びと課題
～A看護学科を対象とした自由記述式質問紙調査を中心に～ ○小柳康子（福岡大学）他
(10：26～10：52)..... 座長 葛西敦子（弘前大学）
P-7 養護教諭のキャリア発達に関する研究～養護実践の調査分析から～ ○小林由佳（福山市立幕山小学校）他
P-8 現職養護教諭の特性による学習ニーズの特徴の解明 ○野本百合子（愛媛県立医療技術大学）他

- ポスター発表Ⅲ (10:00~10:26) 座長 北口和美 (大阪教育大学)
- P-9 養護の探索的研究—園児と養護教諭の発話プロトコル分析から— ○斉藤ふくみ (茨城大学) 他
- P-10 養護教諭養成大学における実践的能力の向上に関する研究—第1報
—初任者が体験した困難な場面の分析より— ○櫻田淳 (埼玉県立大学) 他
- (10:26~11:05)..... 座長 大川尚子 ((関西福祉科学大学)
- P-11 小学生における生活習慣と生活行動に関する研究 ○佐藤深香 (北翔大学) 他
- P-12 小学生の生活習慣と家族形態等との関連 ○高橋美月 (北翔大学) 他
- P-13 児童の主体性を高める児童保健委員会の運営を目指して ○森下葉子 (埼玉県坂戸市立泉小学校) 他
- ポスター発表Ⅳ (10:00~10:26) 座長 鈴木薫 (就実大学)
- P-14 女子学生のライフスタイルと月経に関する意識—月経観について—
○冠崎南美子 (広島県立神辺高等学校) 他
- P-15 大学生の新型インフルエンザに関する意識調査..... ○山田玲子 (北海道教育大学) 他
- (10:26~11:05) 座長 松枝睦美 (岡山大学大学院)
- P-16 小学校における養護教諭の児童虐待対応と家族支援—G県の実態調査から—
○青柳千春 (群馬大学大学院) 他
- P-17 養護教諭が行う閉鎖湿潤療法の実態と課題 ○吉田有希 (北翔大学) 他
- P-18 学校で起きるけがのアセスメント
—保健室で使えるチェックシート ○岩井逸子 (横浜市立すすき野中学校) 他
- ◇ランチョンセミナー (11:30~12:30) A会場 子宮頸がん予防4U事務局
「子宮頸がん予防について」
- ◇全国学生ランチョン交流 (11:30~13:40) J会場
「こんな養護教諭になりたい!—仲間との交流をとおして—」..... 座長 大沼久美子
「目指す養護教諭ってどんな人? ~子宮頸がんの説明を例に~」 子宮頸がん予防4U事務局
- ◇総会 (12:40~13:40) A会場
- ◇学会活動報告 (13:40~13:55) A会場 座長 吉田あや子 (学会活動担当理事)
「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」の改訂にむけた検討報告 永田智恵子 (学会活動担当理事) 他
- ◇ワークショップ (14:05~16:00)
テーマ 「今日の課題に向かい実践を振り返り、明日の研究に活かす」 全体企画運営担当: 大沼久美子
1. 学校保健の危機管理 E会場..... 座長 村木久美江 門山由美子
「学校環境衛生及び感染症の危機管理にどう対応するか」 講師 内海香織 (坂戸市立城山中学校養護教諭)
澤村文香 (入間市立豊岡中学校養護教諭)
2. 歯科保健 I会場 座長 岩崎和子 東真理子 大島夏緒里
「口腔写真撮影技術を身につけ指導に活かす」 講師 安井利一 (明海大学教授・学長)
3. 養護教諭のヒヤリ・ハット B会場..... 座長 道上恵美子 鈴木裕子
「体験を書いて・分析して・そして明日の実践に活かす」 講師 刈間理介 (東京大学環境安全研究センター准教授)
4. 発育・発達 G会場..... 座長 安藤徹子 廣部てる美 西森菜穂
「ライセンス保持者による新たな子どもの身体計測法」 講師 香川雅春 (女子栄養大学専任講師)
5. 養護診断開発 C会場 座長 平川俊功 船越夏可 久保田美穂
「対応の根拠を明確にして養護実践に誇りと喜びを」 講師 遠藤伸子 (女子栄養大学教授)
6. 記録の書き方 H会場..... 座長 芦川恵美 岡野容子
「子どもが見える」、「養護教諭の実践がわかる」記録の書き方
—実践の質を証明し、「多職種連携の時代をむかえ、実践を活きた記録に残す視点」に—
講師 徳山美智子 (前大阪女子短期大学教授)
7. 基礎統計 K会場..... 座長 久保田かおる 力丸真智子
「実態調査を提案に活かす知恵」 講師 武藤志真子 (女子栄養大学教授)

第19回学術集会プレングレスのご案内

「災害時に保健室・養護教諭は どのような役割を果たせるか」

担当理事：鈴木 裕子（国士館大学文学部）
山崎 隆恵（神奈川県立綾瀬西高校）
小林 央美（弘前大学）

- 日時：2011年10月8日（土）10：30～11：40
- ・事前申し込みの必要はありません。
- ・プレングレスの受付は、学術集会全体受付とは別に、10：15頃から教室入り口で行います。
- 場所：女子栄養大学坂戸キャンパス
12号館5階12502教室（学術集会B会場）

恒例になりました学会本部企画（プレングレス）についてご案内します。今回は、3月11日に発生した東日本大震災をふまえ、災害時の対応についてのグループワークを計画しています。

このたびの震災では、震源地に近い東北・北関東はもとより、広範囲で強い揺れを経験しました。しかもほとんどの学校で授業中の金曜日の午後のことでした。そのとき保健室はどのような状況だったのでしょうか。そして児童生徒の安全確保、保護者への引き渡しはスムーズにできたのでしょうか。その後の児童生徒の様子、避難所となった学校の様子はいかがだったのでしょうか。養護教諭としてできたこと、できなかったこと、災害時のマニュアルや避難訓練・下校訓練で役立ったことや課題にはどのようなものがあったのでしょうか。

阪神淡路大震災や中越地震等の過去の大災害での学びを生かし、これまで様々な検討が行われてきました。しかし想定をはるかに上回る今回の災害からさらに考えさせられることはたくさんあります。各方面でこの話題が取り上げられる昨今、養護教諭の資質向上を願う本学会としては、「養護教諭として学べること」、「養護教諭として今後学ぶべきこと」を中心に議論を深めていければと思っています。

9月末日発行予定の日本養護教諭教育学会誌第15巻第1号でも関連する特集を組んでいます。このプレングレスでは、その記事等も参考にしながら、参加者同士の情報交換・意見交換を中心に進める予定です。

このたびの震災にかかわられた方はもちろん、過去の災害のご経験者、養護教諭の役割についてご関心をおもちの皆様にも多数ご参加いただけますようよろしくお願い申し上げます。

文部科学省の「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（審議経過報告）」に対する意見の提出について【報告】

理事長 後藤 ひとみ（愛知教育大学）

みだしの審議経過報告は、中央教育審議会の「教員の資質能力向上 特別部会」によって本年1月31日に出示されたものです。同6月10日には、この内容に対する意見募集が文部科学省初等中等教育局教職員課より計65団体に対して照会されました。

本学会は、これらの団体に含まれていませんでしたが、養護教諭の養成や現職教育に関する課題を提起する好機と考え、意見提出させていただきたい旨の要望を行ったところ許可された幸いです。

これに先立ち、同3月11日（東日本大震災発生）の午前中、文部科学省教職員課を理事長と鈴木裕子常任理事が訪問し、教員免許企画室長や担当係長との面談を行いました。この折、後藤が日本学校保健学会で養護教諭等の制度を担当する常任理事であることから、同学会の植田誠治常任理事にもご同行いただき、2つの学会から養護教諭の教員免許状の諸課題や学校保健必修化の問題などを述べてきましたので、両学会それぞれで意見提出することになりました。

7月29日の提出期限までには養護教諭関係団体である日本養護教諭養成大学協議会や全国養護教諭連絡協議会、日本学校保健学会の意見が出揃いましたので、これら関係団体との齟齬が生じないよう配慮しつつ、本学会としての意見をまとめました。詳細は学会誌に掲載致しますので、ここでは所定用紙の項目ごとに概要をご報告させていただきます。

1. 教員養成の在り方

(1) 教員養成の改革の方向性について

機関紙ハーモニーで会員に情報提供してきた。教員養成全体の改革に遅れることなく、養護教諭のことも同じ俎上で議論してほしい。本学会を含めた養護教諭関係団体の意見を反映してほしい。新たな教員養成について検討する一方で、現行の問題に対する早急な改善をお願いしたい。

○教職大学院や既存の修士課程等の在り方について

開放制のなか、養護教諭の専門性を担保する一定の新たな基準が必要である。教職大学院を養護教諭の質保証も視野に入れた実践力育成のための大学院として充実してほしい。本学会は今後も大学院での学びを公表する場を提供していく。

○教員養成のカリキュラムについて

養護教諭固有の科目は「養護概説」と「健康相談活

動の理論及び方法」のみであり、「学校保健」を加えても専門的な科目構成ではないため抜本的改正が必要である。

○教育実習の在り方について

教育実習の期間や内容の検討に加えて、教育現場で指導にあたる養護教諭の指導力育成も必要である。

(2) 教育課程の質の保証について

現行の課程認定では「養護に関する科目」の読み替えが行われており、一定の質を保証する制度になっていない。授業内容はもとより、授業担当者の適性をはかる基準を設け、養護教諭固有の科目を担当するにふさわしい人材の規定を明文化してほしい。

2. 教員免許制度の在り方

(1) 教員免許制度の改革の方向性について

教員免許制度と研修制度を一体化して改革する方向に賛同する。基礎免許状、一般免許状、専門免許状を付与することについては教諭と同じ組上で議論していただき、本学会を含めた養護教諭関係団体の意見を反映してほしい。保健師免許取得者が申請によって養護教諭2種免許状を取得できる規定は「養護に関する科目」も「教育に関する科目」も学ばずに免許状取得を可能とするので見直してほしい。

(2) 教員免許状の種類について

専門免許状の区分については、例示の中に「学校保健」も加えてほしい。

(3) 教員免許状の区分について

本学会の定義において、養護教諭は特別な免許を持つ教育職員であると述べているように、校種を超えて活躍できる資質の担保の充実をはかる必要がある。

3. 現職研修の在り方

(1) 初任者研修について

現行の教育公務員特例法の「教諭等」を「教諭・養護教諭等」にしてほしい。教員の初任者研修に「学校保健」や「保健室経営」の内容を盛り込み、子どもの心身の健康と安全（特に危機管理）や教師自身の心身の健康管理、保健室の役割について学ぶ機会を設けてほしい。

(2) 国や任命権者が行う様々な研修の在り方について

養護教諭も教諭と同様に研修制度の見直しを行って充実を図ってほしい。「大学院修学休業制度」での休業が許可されないなど養護教諭の研修機会保障には課題がある。教育委員会や教員研修センターに養護教諭経験者が完全配置されていない。養護教諭独自の研修計画を立てて運用できる人材を配置してほしい。

(3) 校内研修や自主研修の活性化について

学校保健安全法に規定された「健康相談」「保健指導」「危機管理」などの推進に関する研修機会保障のため

にも複数配置を拡充してほしい。新たな免許制度における専門免許状では、学会での実践発表といった自主研修を評価する制度設計をしてほしい。

4. 当面取り組むべき課題について

(1) 管理職の資質能力の向上について

学校保健活動の推進において中核的な役割を担い、コーディネーターとしての役割が期待されている養護教諭の能力をいかし、管理職登用の道を広げてほしい。

5. その他

学校教育法附則第7条における「当分の間、養護教諭を置かないことができる」の規定は撤廃してほしい。同法第60条第2項における「高等学校では養護教諭を置くことができる」との規定は、校長、教頭、教諭同様に「置かなければならない」と改正する必要がある。高等学校設置基準第9条の「養護教諭その他の生徒の養護をつかさどる職員を置くよう努めなければならない」という規定も改正し、「生徒の養護をつかさどる職員」という表記を削除して養護教諭の必置制を実現してほしい。

私の県の「ここが特色」⑬

主任養護教諭として

村瀬 久美（愛知県立加茂丘高等学校）

愛知県の特色として挙げられるべきものに、主任養護教諭制度があります。

平成元年、愛知県の公立学校に、学校保健の推進及び養護教諭の資質向上を目指すことを目的とした、主任養護教諭制度が発足しました。教育委員会から、地域の指導的立場にある養護教諭が各地区の主任養護教諭として任命され、現在は公立小中学校71名、県立学校は13名がその任に当たっています。ここでは、県立学校の主任養護教諭について、紹介したいと思います。

具体的な職務の内容は、県教育委員会との連携のもとに、県立学校の養護教諭に対し、研修会等において指導や助言をするというものです。初任者研修や5年経験者研修、10年経験者研修での講師が主なものですが、地区研究会での指導・助言、講師との連絡調整をしたり、養護教諭からの電話相談に応じることもあります。また、養護教諭の複数配置や研修の拡充、保健室のセキュリティシステムの整備や、隣接する相談室の設置など、県教育委員会への要望も行っています。

私が担当する地区には、16校の高校と3校の特別支援学校に、27名の養護教諭が勤務しています。昨年度の活動としては、地区の5年経験者に対し「基礎疾患をもつ生徒の健康管理と保健指導について」という

テーマで指導をしました。また、県の初任者研修では、「養護教諭の役割と執務上の課題」について研究協議と指導・助言をしました。さらに、支部（46校）の研修会において、「本校における感染症予防について」というテーマで講話をする機会もいただきました。

前任の主任養護教諭から引き継いだことのひとつに、「養護教諭同士が何でも相談できる関係づくり」がありましたので、対等な立場で接することにより、率直な意見交換ができる環境づくりを心がけています。

全県的な活動としては、年4回の研修会において、県教育委員会の指導のもとに、さまざまな研修と情報交換を行っています。また、4つの班にわかれ、それぞれのテーマに沿った研究をしています。私の属する班では、本年度、「災害発生時における養護教諭の役割」について研究をすることになっています。

主任養護教諭としての責任は重く、毎日気の引き締まる思いですが、やりがいも感じています。主任養護教諭となり、私自身が変わったこと、それは、毎日の学校内の仕事をこれまで以上に大切にしなければならないと意識できたことです。現在、子どもたちが抱えているさまざまな健康問題に対応していくためには、専門職としての養護教諭の、より一層の力量向上が必要です。当然、地域の核となる主任養護教諭への期待も増すものと思われれます。

今後は、愛知県の主任養護教諭制度への関心も高まるのではないかと考えますが、他府県の先生方ばかりではなく、県内の方々にもさらに理解していただけるような活動ができるように、努力していきたいと思っています。

『私の実践と研究』リレー・レポート⑩

学校教育目標を具現化できる 養護活動を目指して

松原 紀子（飯田市立緑ヶ丘中学校）

養護実践を行っていて、「この学校の教育活動の中で、私の実践がどんな意味を持つのだろうか？」と思うことが、何度となくありました。また、ある管理職から「養護教諭は縁の下の力持ち」と言われ、学校教育を陰から支えるのが養護教諭なのだろうか？」と考えたりすることもありました。

養護教諭が行う養護活動、学校保健活動は、学校教育目標の達成のために行います。しかしながら、そのプロセスが分かりにくく、具体的方法や達成できたかどうかの評価が見えにくいため、学校教育活動を下から支える職種（実践）と捉えられてしまうこともあるのではないかと考えます。

学校経営戦略の研究が盛んにおこなわれるようになり、学校自己評価システムが導入されています。全職員が、めざす子ども像に向けた指導を可視化して取り組もうとするようになりました。前任校（飯田市立竜東中学校）において、教員評価の面接時、管理職に生徒の健康課題「自分の生活習慣の課題に気づかない。改善しようとしていない」、これを解決させるために行いたい教育活動（私の考え）を話しました。さらに、全職員で行った「学校グランドデザイン」「学校自己評価」の検討会においても提案しました。そして、学校教育目標具現化の重点として、学校教育目標「重点1：生活と学習を改善して学力を高め一歩上の自分をめざす」が決まりました。その結果、健康チームが編成され、チーム目標「学力・体力の向上をめざすために生活習慣の改善をはかる」となりました。計画（plan）・実行（do）・評価（check）・改善（action）を繰り返し、何サイクルもの活動を行い、学校教育目標の達成ために学校保健活動を組織化し、健康課題の解決に取り組めるようになりました。

今年度4月、新たな学校に赴任しました。本校は、大規模中学校です。数々の課題を背負っている生徒がいます。そのため、学級内の友人関係、校内の人間関係などの様々な心理的要因で保健室を訪れる生徒が多い現状です。本校のめざす生徒の姿「自己に厳しく」「他に温かく」に向けて、今年度は、「聴く」プロジェクト（学習姿勢をつくる）、心を磨くプロジェクト、学級プロジェクト（より良い学級集団をつくる）に分かれアクションを起こしています。私は、学級づくりプロジェクトに属しています。学級づくりが円滑に進められるように保健室来室者の課題を整理し、担任・保護者・外部の機関とチームでの支援ができるようにしていくことが学校教育目標を具現化できる実践となると考え、保健室来室で課題が残った生徒個々に支援シートを作成して、担任と共に支援会議を行い始めています。

今後、保健室でかかわる生徒の支援を担任らと連携して行い、本校でめざす生徒の姿「自己に厳しく」「他に温かく」に向けて実践し、見返し研究的にまとめていきたいと考えます。

「養護教諭の専門領域に関する用語の解説集」改訂作業の進捗状況について
学会活動担当理事 永田 智恵子

第二版発行に向け、解説集改訂の趣旨及び基本方針を踏まえた改訂作業として、第1回ワーキング会合を平成23年4月、第2回を同6月に、第3回を同8月に開催しました。

1 掲載する用語

ハーモニー第55号でもお知らせしましたが、新たに、「20. 保健指導」と「22. 健康相談」を追加し、「10. 養護教諭の職務」は「10. 養護教諭の職務と役割」に、「25. アセスメント」は「24. ヘルスアセスメント」に変更しました。

掲載する用語の一覧は下記のとおりです。

No.	用語	No.	用語
1	養護	17	健康相談活動
2	養護学	18	救急処置/救急処置活動
3	養護教諭	19	保健管理
4	養護教諭教育	20	保健指導
5	養護教諭の活動過程	21	健康診断
6	養護実践	22	健康相談
7	養護診断	23	健康観察
8	養護実習	24	ヘルスアセスメント
9	養護教諭の資質・能力	25	健康課題
10	養護教諭の職務と役割	26	健康教育
11	(養護教諭の)・・・観	27	ヘルスプロモーション
12	学校保健	28	組織活動
13	学校保健経営	29	支援
14	保健室	30	連携
15	保健室経営	31	コーディネート
16	保健室登校	32	危機管理

2 今後に向けて

第19回学術集会の2日目(2011年10月9日)に検討状況の経過報告を行います。さらに、学会HPでも会員からのご意見を頂き、来年の7月頃までに再検討した上で、最終的な改訂案をまとめ、2012年の第20回学術集会には第二版を発行する予定です。皆様からの忌憚のないご意見をお願い致します。

日本養護教諭教育学会 2011年度総会告示

理事長 後藤 ひとみ

下記の日程で2011年度総会を開催致します。

欠席される方は、同封の委任状を9月30日(金)必着にてお送りください。

☆日時 2011年10月9日(日) 12:40~13:40

☆場所 女子栄養大学坂戸キャンパス

☆議題

1. 2010年度事業報告
2. 2010年度決算・監査報告
3. 2011年度事業経過報告
4. 2011年度補正予算審議
5. 2012年度事業計画
6. 2012年度予算審議
7. 名誉会員の推戴に関する内規について
8. 研究助成金対象研究の選定
9. 理事選挙結果の報告
10. 第21回学術集会(2013年)
11. その他

学会誌第15巻第2号への投稿募集

学会誌編集担当常任理事 鈴木 裕子

今年度から「日本養護教諭教育学会誌」は年2回発刊となり、その第1号は10月上旬頃にお届けできる見通しとなりました。第2号(2012年3月発刊予定)への掲載を希望される場合はお早めにご投稿ください。

○投稿資格: 共著者も含め、全員が本学会の会員であること。

○締め切り: 2011年9月30日(金)必着。この日までに到着した分を第15巻第2号掲載をめざす論文として処理します。なお査読が終了し受理されるまでに時間を要する場合には次号以降の掲載となることがあります。

○執筆および投稿方法: 原稿はA4判横書き(40字×24行、10.5ポイント)で作成してください。投稿のしかたや同封物等につきましては、学会誌第14巻第1号に掲載の投稿規定や学会HP、本誌バックナンバー等を十分ご確認ください。送付先の間違い、規定枚数の超過、文献記載様式の誤りなどがしばしば見られますのでご注意ください。

○原稿は投稿前によく読みなおし、「完成原稿」をお願いします。

○原稿の送付および問合せは下記にてお願いします。

<編集委員会事務局>

〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1

国士舘大学文学部 鈴木裕子

TEL 03-5451-8161(研究室直通)

e-mail: suzukiyu@kokushikan.ac.jp

※学会事務局とは異なります。ご注意ください。

事務局より

事務局長 下村 淳子

(1) 学術集会当日は、全体受付付近に事務局も開設します。年会費が未納の方はこちらでも納入できますので、ぜひご利用下さい。

(2) 会員名簿作成の準備をすすめています。勤務先や自宅の住所、改姓、発送先など会員登録の変更はありませんか。変更届が必要な方は、EメールかFAXで早めに事務局までご連絡下さい。

編集後記

学術集会が近づきました。新しい出会いが待っています。ここでの会話が日本を変える一歩になるかもしれません。がんばろう 日本! がんばろう 東北! がんばろう 養護教諭! (K)